



駅前では新日窒闘争資金のカンパをする水俣病患者家庭互助会員たち

街頭で資金カンパ

補償要求中の水俣病互助会員

一人あたり三百万円の補償金などを要求して新日窒水俣工場前に座り込みをつづけている水俣病患者

家庭互助会は、四日もひきつづき工場正門前に座り込みいっぽう午後一時からは水俣駅前など市内六カ所の街頭で闘争資金カンパをはじめた。

また同日県水俣保健所落成式のため来水した水上副知事に対し「ぜひとも調停案に患者への補償を入れてもらいたい」と重ねて陳情した。

なお同互助会では調停案におり込まれることが確定しないかぎり年を越しても座り込みをつづけるといっている。